



落四の教育

学校便り 令和4年1月



新宿区立落合第四小学校
<http://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai4/>

「七菌八転」

校長 本間 基史

昨年は1月7日に「緊急事態宣言」発令されたなか休校措置は取られませんでした、3学期がスタートしました。

昨年度の世相を映す創作四文字熟語の最優秀賞は「七菌八起」（ななころなやおき）でした。リバウンドがあってもコロナに負けずに起き上がろうという意味で、「七転び八起き」のめげずに立ち上がるからの創作です。

学芸会は兄弟学年と保護者の方の前で、学年ごとに対面で披露し、パフォーマンス集会では、ほぼ2年ぶりに体育館に全学年が集まり、有志のパフォーマンスに感動し、笑い、声を出さないようにしながらも、拍手で盛り上げ、大いに楽しみました。

改めて、全学年そろっての行事は楽しく、他の学年の演技を応援する様子は、全校の仲の良さを感じました。

日々の感染状況に合わせて、いろいろなパターンを考え、臨機応変に対応できるよう、いつもの何倍もの苦勞をして、教育活動を進めてきましたが、子供たちの笑顔に救われました。今後も、コロナ禍でも子供たちの笑顔が見られるよう、教育活動を工夫して参ります。年末に「日本オリンピックアカデミー」においてZOOMによる講演でしたが、本校のオリンピック・パラリンピック教育の実践を発表する機会に恵まれました。

テーマは「共生社会創造に向けたチャレンジ」大会コンセプト「多様性と調和」に沿って展開されたチャレンジを、スポーツ界（日本フェンシング協会）、地域（共生社会ホストタウンの青森県弘前市）、スポンサー（アクティベーションにみる取り組み、パナソニック）、学校（本校のオリンピック・パラリンピック教育）に見出し、大会前後のムーブメント等の発展について現実と可能性を展望するというものでした。会の参加者から、「大会の前後にこれほどまで練られた教育が行われていたことに感動しました。」との感想をいただきました。本校のオリンピック・パラリンピック教育はグローバルコミュニケーション、障害者理解、日本の伝統文化を柱に取り組んでいます。次年度もこの内容は継続していきます。本年も本校の教育にご理解ご協力よろしくお願いたします。

1月の行事予定

日	曜	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	始業式 給食なし3時間授業(11:45下校) S. C.
12	水	給食始 4時間授業(13:15下校) 新宿区学力定着度調査(2~6) 身体計測(1)
13	木	身体計測(6) 4時間授業(13:15下校)
14	金	身体計測(45) 全校の遊び 5時間授業(14:15下校)
15	土	
16	日	
17	月	全校朝会 身体計測(23) 委員会 学校給食週間始 S. C.
18	火	避難訓練 地域協働学校運営委員会 S. C.
19	水	特別時程4時間授業(13:00下校)
20	木	S. C.
21	金	安全指導 学校給食週間終
22	土	
23	日	
24	月	書初め展始 S. C.
25	火	体育朝会(135) プラネタリウム(4) S. C.
26	水	4時間授業(13:15下校) PTA運営委員会
27	木	体育朝会(246) S. C.
28	金	書初め展終
29	土	
30	日	
31	月	5時間授業(14:15下校)

書き初め展

国語部 篠原 崇子

『1月2日の事始めの日に、一年の抱負・願いを毛筆で書くことには、「書を書くこと(文字を書くこと)が上達しますように」との切なる願いが込められている』とされています。

落合第四小学校では、毎年1月に席書会を開き、その作品を書き初め展で紹介しています。低学年は硬筆、3年生以上は毛筆での書き初めです。1年生にとっては正に初めての書き初め。一文字一文字、息を止め、集中して書いています。3年生も、初の毛筆での書き初め。筆の位置、座り方から学習しました。学年毎に言葉が違い、その一つ一つに子供たちの思いが込められ、一文字一文字に子供たちの成長が感じられます。毎年、高学年の書き初めを見た下級生たちは、その勢いある文字に憧れをもちます。今年はどうな作品が並ぶのか、楽しみです。

今年度は、下記のように書き初め展を開催することとなりました。一人一人が心を込めて書いた作品を見て、子供たちの思いを感じていただければと思います。

1月24日(月)～28日(金) 各教室前廊下スペース

児童下校後 15:30～16:45(校舎立ち入りは16:30まで)。

※教室への立ち入りはご遠慮ください。



3年生 染め物体験

3年担任 長尾 崇嗣
梅澤 泉

我が落合地区は、京都・金沢と並ぶ染め物の三大産地と言われています。落合にお住まいの手描き友禅の染め師である遠藤興喜先生をお招きして、染め物体験をする機会をいただきました。まずは図工の授業に、反物にどんな絵を染め抜くか考え、柿渋紙という特別な厚紙に鉛筆で下絵を描き、カッターで型作りをしました。翌週の総合的な学習の時間には、白い反物の前に並んで座り、色落ちしない絵の具を筆に付け、型の上から塗る活動を行いました。1組も2組も2時間ずつ、色遣いを工夫しながら楽しみました。遠藤先生から「1人1人個性豊か。どの作品もすばらしい。」というお言葉をいただき、みんな大喜びでした。

3年生が協力して染め上げた反物は、「染めの小道 2022」というイベントで展示される予定です。2月25日(金)から27日(日)まで、展示場所は中井駅付近の妙正寺川の上です。コロナでイベントの変更もあります。

